

肺がん・結核検診

罹患数 男性4位 女性3位
死亡数 男性1位 女性2位
(がんの統計2021より)

胸部エックス線検査の概要

①問診

受診票の内容を確認します。

②エックス線検査

肺全体をエックス線撮影します。

★結核は、今でも全国で年間約2万人もの新しい患者が発生している感染症で、そのうち80歳以上の方の割合が約4割(70歳以上の方の割合は約6割)に上っています。早期発見のために年に1回は検診を受診しましょう。

<次に該当する人は受診できません>

●妊娠中もしくは妊娠の可能性がある人

<検査を受ける際の注意>

ペースメーカーを装着している人は、事前に主治医とご相談ください。

肺がん(喀痰細胞診)の概要

3日間、痰を採取して痰の中にがん細胞が含まれているかどうか調べます。



<次に該当する人は受診できません>

●痰が出ない人

<検査を受ける際の注意>

喫煙者向きの検査となりますので、たばこを吸ったことがない人は、胸部エックス線検査を受診してください。

痰は3日間続けてとるのが理想です。3日目をとったら1週間以内に提出してください。1週間を越えてしまっても検査をすることはできますが、検診の精度が下がることがあります。また、提出までは涼しい場所に保管してください。

前立腺がん検診/B型・C型肝炎ウイルス検査

検診の概要

①問診

受診票の内容を確認します。

②血液検査

血液を採取します。



前立腺がん検診

罹患数 男性1位 死亡数 男性6位
(がんの統計2021より)

前立腺がんになると血液中に増加するPSAという物質の数値を調べます。

数値が高ければ必ずがんというわけではありませんが、前立腺がんを発見するきっかけとなります。

B型・C型肝炎ウイルス検査

B型肝炎・C型肝炎ウイルスに感染をすると、肝硬変、肝がんにつながる危険性があります。血液検査による早期発見、早期治療で進行を防ぐことができます。

今年度「40歳になる人」と「41歳以上で、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない人」を対象に無料を実施しています。ぜひ、この機会に検査しましょう。